



Pack
2

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

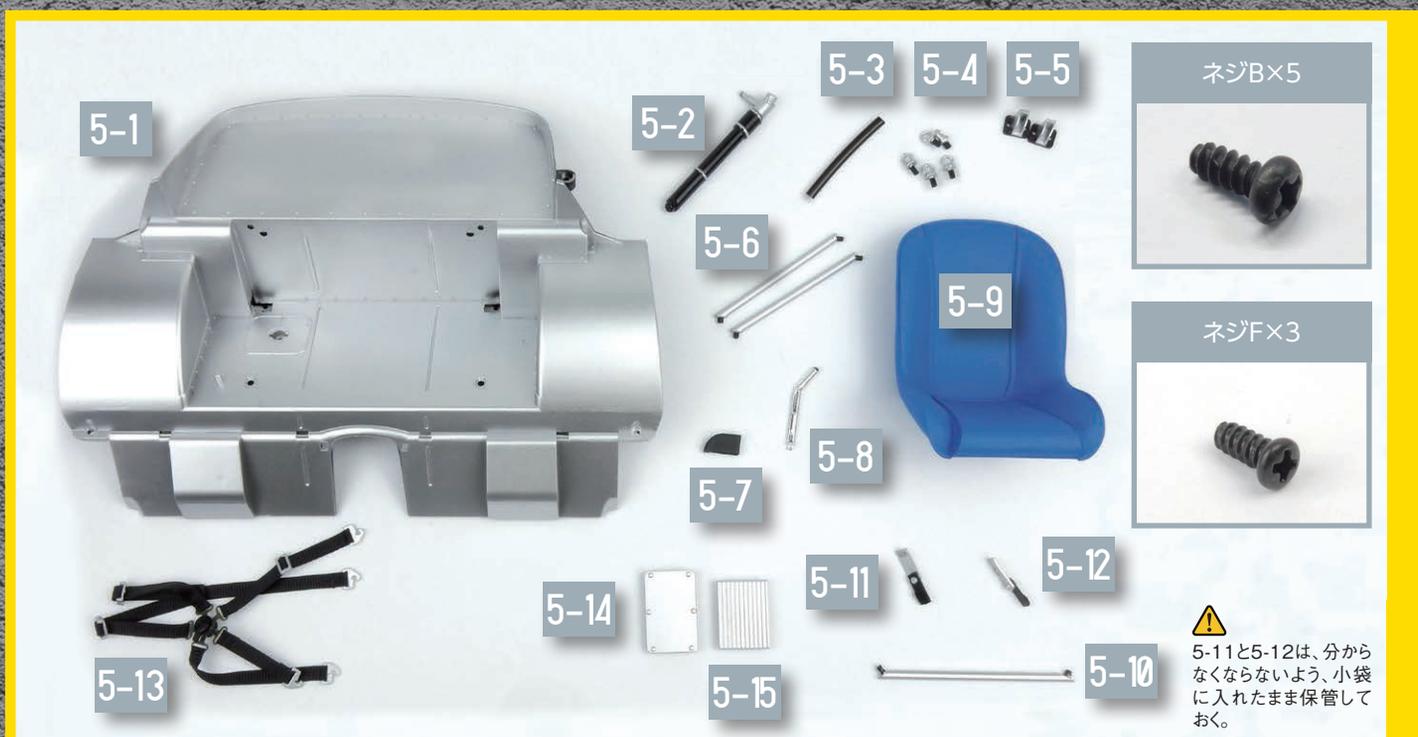
組み立てガイド

-
- | | | |
|----------------|------------------------|------|
| STAGE 5 | ギアボックスパネルとリアフロアパネル | P.17 |
| STAGE 6 | シートベルトとバケットシート | P.21 |
| STAGE 7 | ディストリビューターとシリンダーブロック・右 | P.25 |
| STAGE 8 | ヘッドカバー・右 | P.29 |



ギアボックスパネルと リアフロアパネル

今までに組み立てたフロント側のフロアパネルにリア側のフロアパネルを組み合わせる。
また、ギアボックスにパネルを加える。



パーツリスト

- | | | |
|--------------------|---------------------|----------------------------|
| 5-1 フロアパネル・リア | 5-8 ハンドブレーキレバー | 5-15 ギアボックスパネル・ロア |
| 5-2 オイルフィルターパイプ | 5-9 バケットシート★ | |
| 5-3 ブリーザーホース | 5-10 ストラットバー・B | ネジ類 |
| 5-4 シートベルトアンカー×5★ | 5-11 シートストッパー・左★ | ネジB (P2.3×5mm) ×5 (1本は予備) |
| 5-5 サポートプレート×2 | 5-12 シートストッパー・右★ | ネジF (P2.6×6mm) ×3 (1本は予備)★ |
| 5-6 ストラットバー・A×2 | 5-13 運転席シートベルト★ | |
| 5-7 ハンドブレーキレバーサポート | 5-14 ギアボックスパネル・アッパー | |

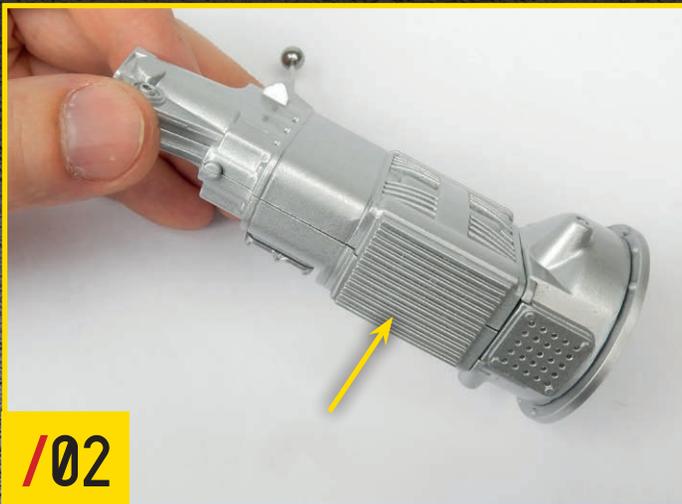
★は次号で使うので保管しておく
(5-4 は 5 個のうち 3 個を保管)。

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



STAGE 4 で組み立てたギアボックスを用意し、写真の位置の開口部に5-14(ギアボックスパネル・アッパー)をはめ込む。



/02

同様に、ギアボックスの反対側の開口部に5-15(ギアボックスパネル・ロア)をはめ込む。



/03

フロアパネルの写真の位置に、5-10(ストラットバー・B)を組み合わせる。前後の向きに注意しながら、5-10(ストラットバー・B)の突起を穴に差し込もう。

STAGE 4 で組み立てたフロント側のフロアパネルに5-1(フロアパネル・リア)を写真のように組み合わせ、黄色い丸で示した3カ所のネジ穴にネジBを1本ずつ締めて固定する。



/04

断面の端に突起がある(反対側は断面の中央付近)。

下側の端を差し込んでから、全体を少ししならせて組み合わせるとよい。ただし、折らないように十分に注意。



/05

フロアパネルの写真の2カ所に、5-4(シートベルトアンカー)を組み合わせる。フロアパネルの穴の形に合わせて、5-4(シートベルトアンカー)の突起を差し込もう。

フロアパネルの下面、写真の位置に、5-5(サポートプレート)を差し込む。反対側の同じ位置にも、5-5(サポートプレート)を組み合わせよう。



カーブした面を内側に向ける(反対側も)。

/06



/07

フロアパネルのリア側、写真の位置の穴に、5-2(オイルフィルターパイプ)の片端を差し込む(黄矢印)。さらに、5-3(ブリーザーホース)の端を、フロアパネルと5-2(オイルフィルターパイプ)の突起に差し込む(黄丸部分)。

おおよそ写真のようになるよう整える(次ページの/10も参照)。

フロアパネルを裏返し、黄色い丸で示したネジ穴にネジBを締め、5-2(オイルフィルターパイプ)をしっかりと固定する。



/08



/09

フロアパネルの突起を底面の穴に差し込む。



フロアパネルの写真の位置に、5-7(ハンドブレーキレバーサポート)と5-8(ハンドブレーキレバー)を順に組み合わせる。向きを間違えないように注意しよう。

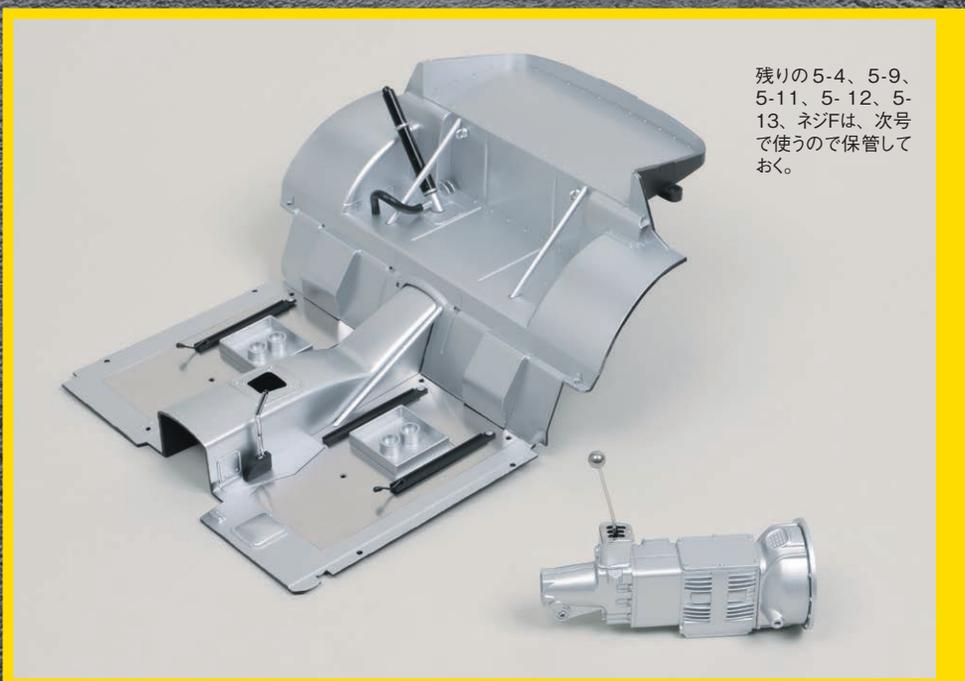
フロアパネルの写真の位置に、5-6(ストラットバー・A)を組み合わせる。前後の向きに注意しながら、5-6(ストラットバー・A)の突起を穴に差し込もう。同様に、写真向かって左側にも残りの5-6(ストラットバー・A)を組み合わせる。



/10

少し長い方の突起が下側。104と同じ要領で組み合わせる。

5-6は5-3の下側に通す(完成写真参照)。



残りの5-4、5-9、5-11、5-12、5-13、ネジは、次号で使うので保管しておく。

STAGE 5 の完成

これで組み立ては終了。フロアパネルにハンドブレーキをはじめ、各種のパーツが加わった。今号で使わなかったパーツとネジは、大切に保管しておこう。

シートベルトと
バケットシート

フロアパネルに運転席と助手席のバケットシートとシートベルトを設置する。また、ギアボックスにさらにパーツを加える。



6-1

6-2



6-5



5-13とは左右対称で異なるので注意。

6-3

6-4



6-6

6-7

6-8



ネジF×3



パーツリスト

6-1 バケットシート

6-2 ストラットバー

6-3 シートストッパー・左

6-4 シートストッパー・右

6-5 助手席シートベルト

6-6 シートベルトアンカー ×3

6-7 ギアボックスリアカバー

6-8 ギアボックススジョイント

ネジ類

ネジF (P2.6×6mm) ×3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 6

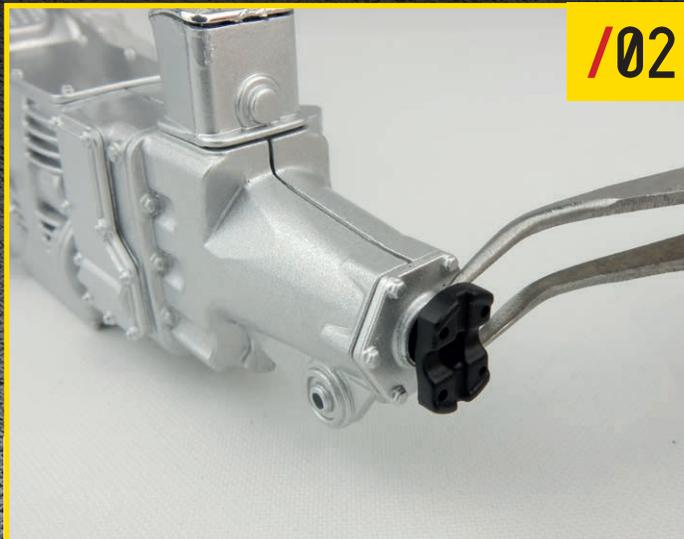
/01



6-8の突起を6-7の切り欠きとかみ合わせる。

6-7(ギアボックスリアカバー)の穴に6-8(ギアボックスジョイント)を、写真のように差し込む。

/02



STAGE 5 で組み立てたギアボックスを用意し、写真の位置に/01のブロックを組み合わせる。

断面の端に突起がある(反対側は断面の中央付近)。

/03

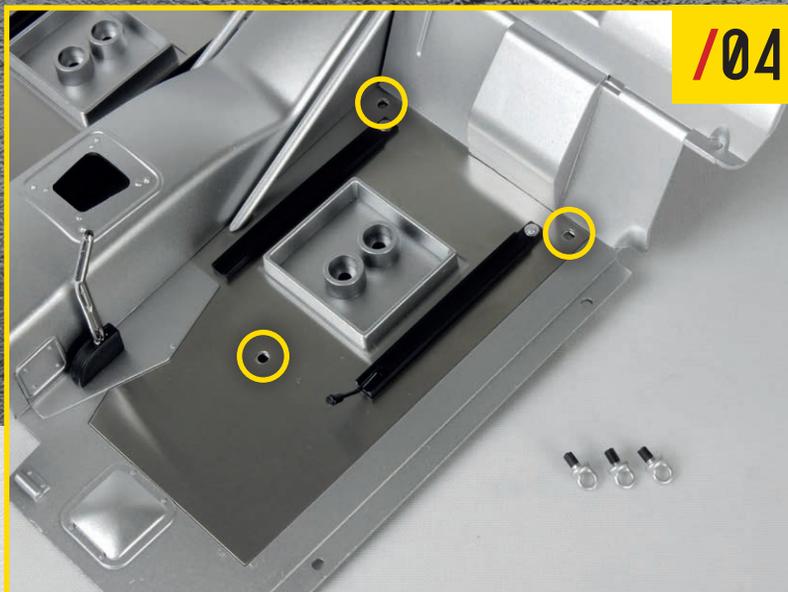


下側の端を差し込んでから、全体を少しならせて組み合わせるとよい。ただし、折らないように十分に注意。

STAGE 5 で組み立てたフロアパネルの写真の位置に、6-2(ストラットバー)を組み合わせる。前後の向きに注意しながら、6-2(ストラットバー)の突起を穴に差し込もう。

フロアパネルの運転席側、写真の3カ所の穴に、第5号で保管しておいた5-4(シートベルトアンカー)を1個ずつ組み合わせる。フロアパネルの穴の形に合わせて、5-4(シートベルトアンカー)の突起を差し込もう。

/04





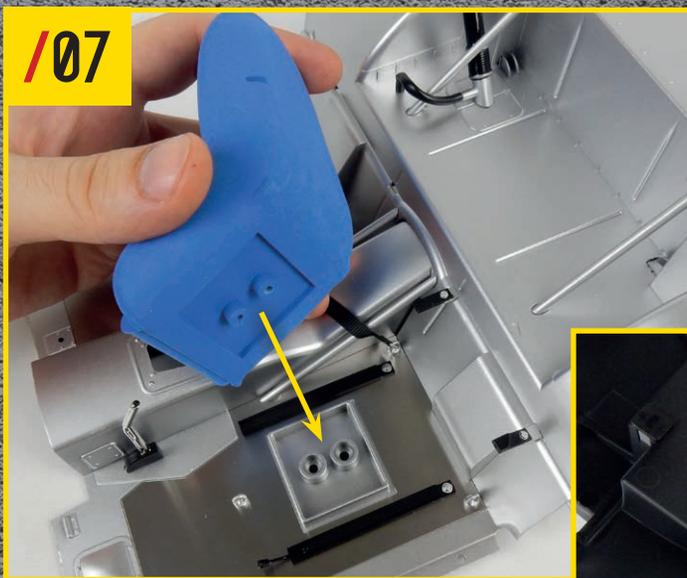
斜めの辺を目安に、左右を間違えないように注意。

フロアパネルの写真の位置の穴に、5-11(シートストッパー・左)と5-12(シートストッパー・右)を差し込んでおく(/08で引き出す)。

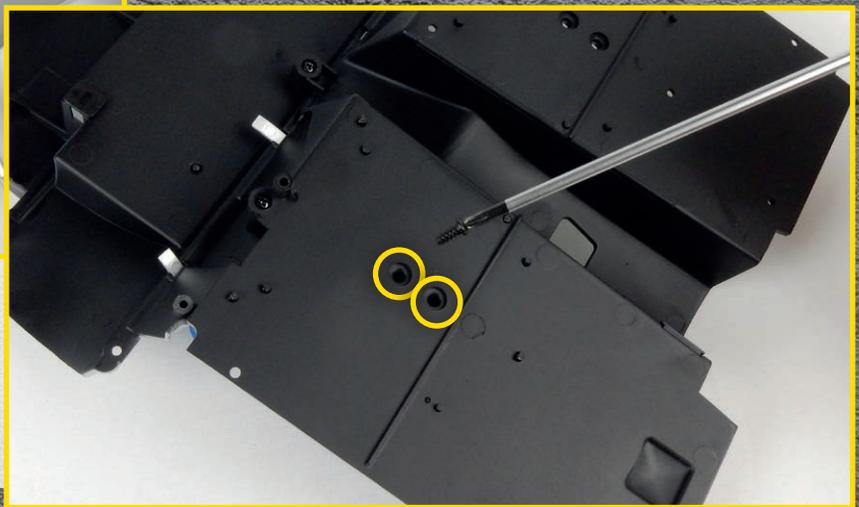
写真の黄色い丸で示した位置の5-4(シートベルトアンカー)に、5-13(運転席シートベルト)の写真の端のフックを引っ掛ける。



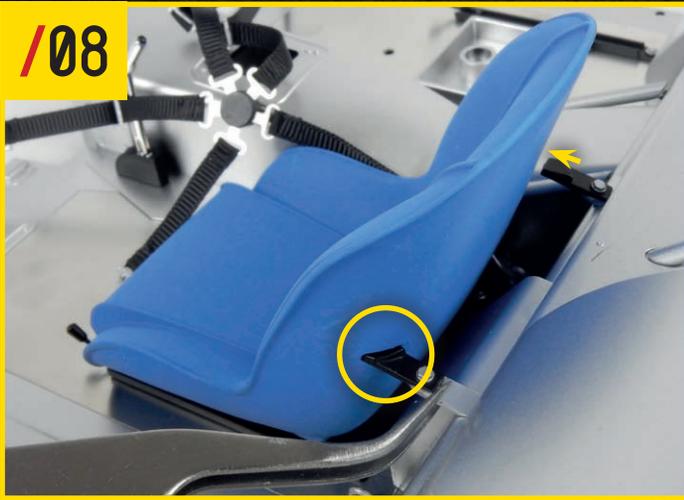
6-5とは左右対称で異なるので注意。



5-13(運転席シートベルト)を助手席側に寄せ、5-9(バケットシート)を設置する。5-9(バケットシート)の裏面の突起をネジ穴に合わせて当て、フロアパネルの下面から **STAGE5** のネジFを2本締めて固定しよう。



/08



5-11 (シートストッパー・左)と5-12 (シートストッパー・右)を引き出し、端をシート背面のへこみに差し込む。



/09

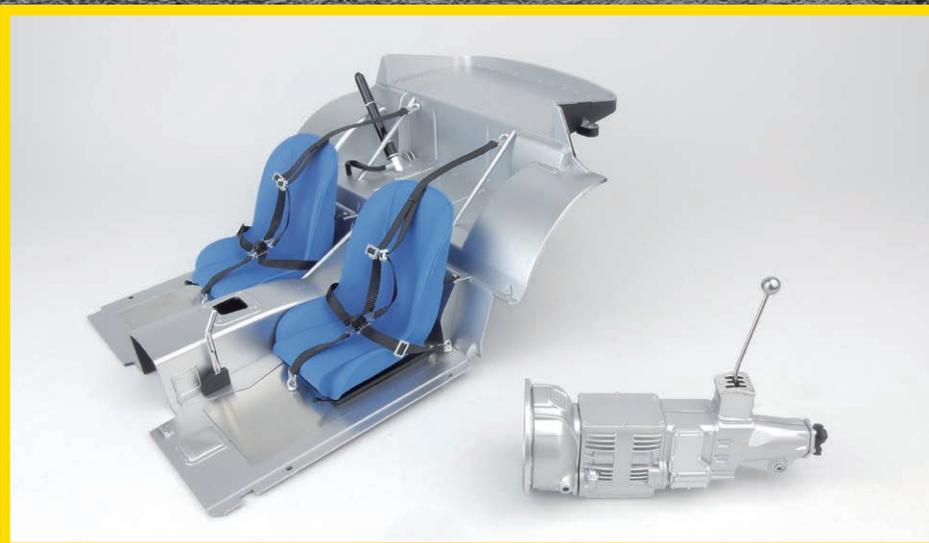


5-13 (運転席シートベルト)の向きを整え、端のフックを写真の黄色い丸で示した位置のシートベルトアンカーに引っ掛ける。



/10

/04~/09と同じ要領で、フロアパネルの助手席側に6-1 (バケットシート)、6-3 (シートストッパー・左)、6-4 (シートストッパー・右)、6-5 (助手席シートベルト)、6-6 (シートベルトアンカー)を組み合わせる。



STAGE 6 の完成

これで組み立ては終了。フロアパネルに左右のシートが設置され、ギアボックスにもパーツが加わった。各ブロックは傷が付いたりしないよう、大切に保管しておこう。

ディストリビューターと シリンダーブロック・右

ディストリビューターを2基、組み立てる。
そのうちの1基を、右側のシリンダーブロックに取り付けよう。

7-1



7-2



7-3



7-4



ネジB×4



パーツリスト

- 7-1 シリンダーヘッド・右
- 7-2 ディストリビューター・1×2
- 7-3 ディストリビューター・2×2
- 7-4 ディストリビューターキャップ×2

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×4 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

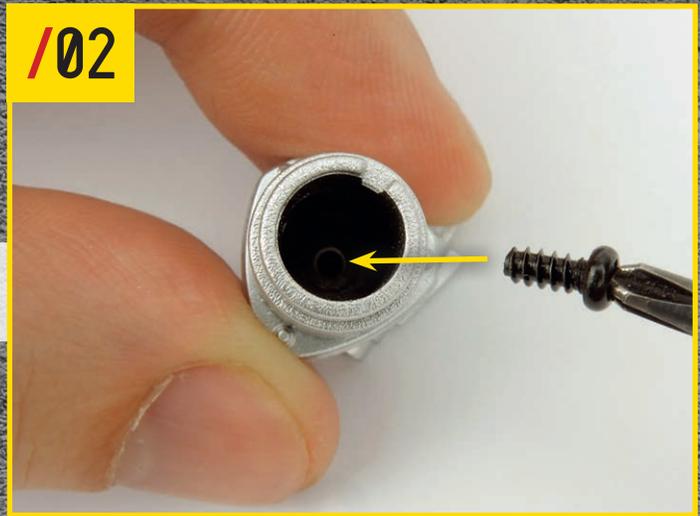


くぼみに7-2の突起を合わせて差し込む。

/01

7-3(ディストリビューター・2)の穴に7-2(ディストリビューター・1)を、写真のように組み合わせる。

/01のブロックを裏返し、内側からネジBを締める。



/02

さらに、7-4(ディストリビューターキャップ)を組み合わせる。ディストリビューターの切り欠き(黄丸)と、7-4(ディストリビューターキャップ)の内側の突起(赤矢印)を確認しよう。



/03

/03で確認した切り欠きと突起を合わせて、ディストリビューターに7-4(ディストリビューターキャップ)を組み合わせる。



/04



/05

/01~/04と同様に、残りの7-2(ディストリビューター・1)、7-3(ディストリビューター・2)、7-4(ディストリビューターキャップ)、ネジBを使ってディストリビューターをもう1基、組み立てる。

7-1(シリンダーヘッド・右)にディストリビューターを組み合わせる。写真の黄色い矢印で示したように、ディストリビューターの端を7-1(シリンダーヘッド・右)のへこみに差し込もう。



/06

突起を7-1のくぼみに合わせて差し込む。



/07

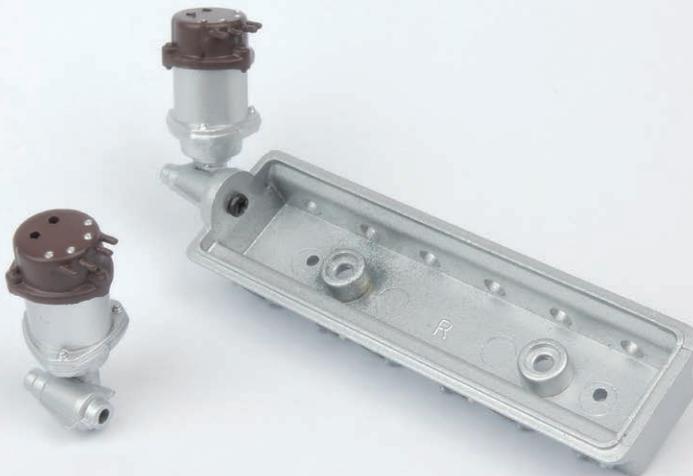
ディストリビューターが外れないように押さえながら、7-1(シリンダーヘッド・右)の内側からネジBを締めて固定する。



/08



ネジがしっかりと締め込まれ、ディストリビューターがグラつかないことを確認しておこう。



STAGE 7 の完成

これで組み立ては終了。右側のシリンダーブロックにディストリビューターが設置された。残りのディストリビューターとともに、大切に保管しておこう。

ヘッドカバー・右

エンジン右側のヘッドカバーを組み立てる。ヘッドカバーにナットを取り付けてから、**STAGE 7** で組み立てたシリンダーブロックと組み合わせよう。



8-1



8-2



8-3

ネジB×3



パーツリスト

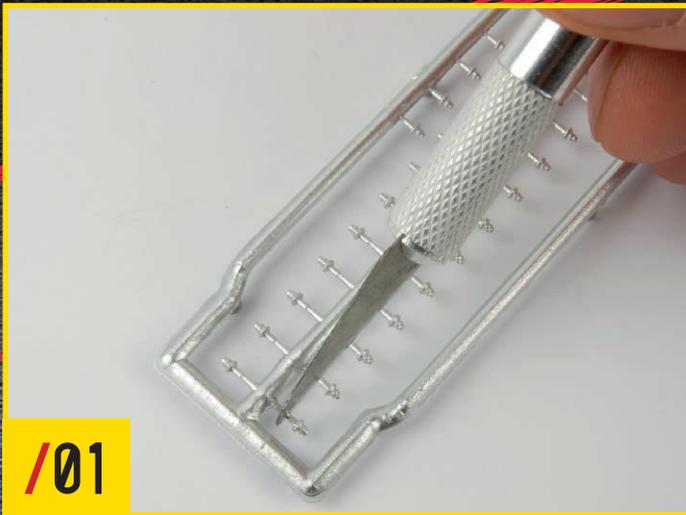
- 8-1 ヘッドカバー・右
- 8-2 ヘッドカバーナット
- 8-3 ピンセット

ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) ×3 (1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 8



/01

8-2(ヘッドカバーナット)は、紛失しないよう1つずつ外しながら組み立てていく。まず、継ぎ目をカッターナイフなどで切って1つ外す。

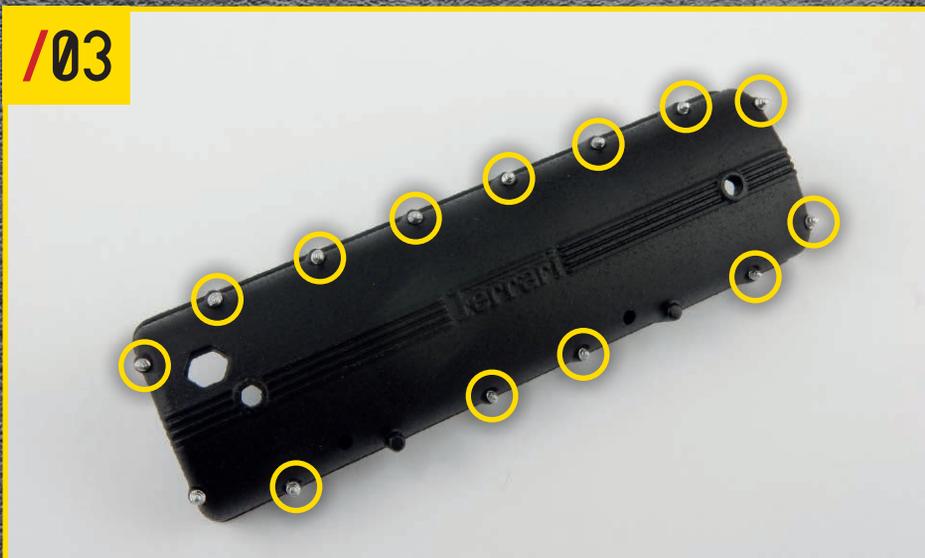
8-1(ヘッドカバー・右)の写真の位置の穴に、/01で外した8-2(ヘッドカバーナット)を差し込む。細かなパーツの組み立ては、8-3(ピンセット)を使うとよい。

/02



ナットの差し込みは、軸の破損に十分注意して差し込むこと。

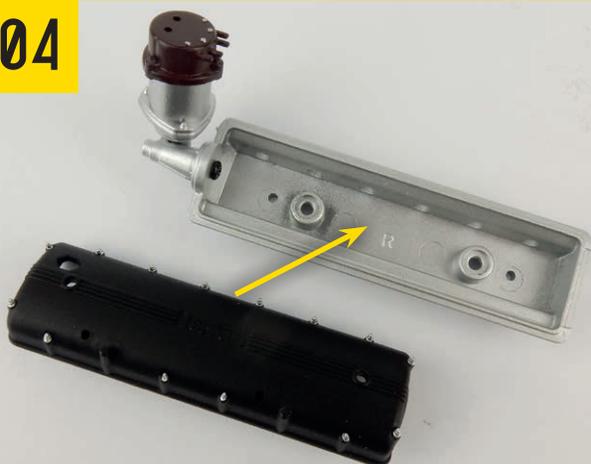
/03



同じ要領で、8-1(ヘッドカバー・右)の黄色い丸で示した位置(13カ所)に8-2(ヘッドカバーナット)を取り付ける。



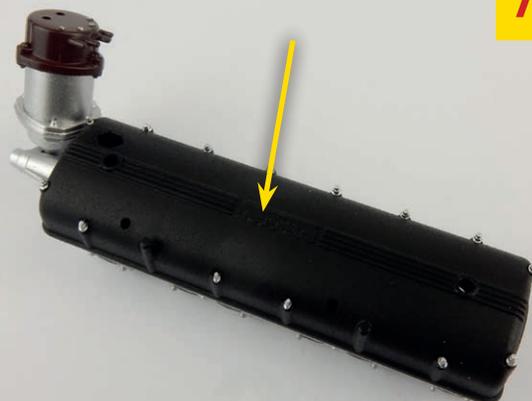
/04



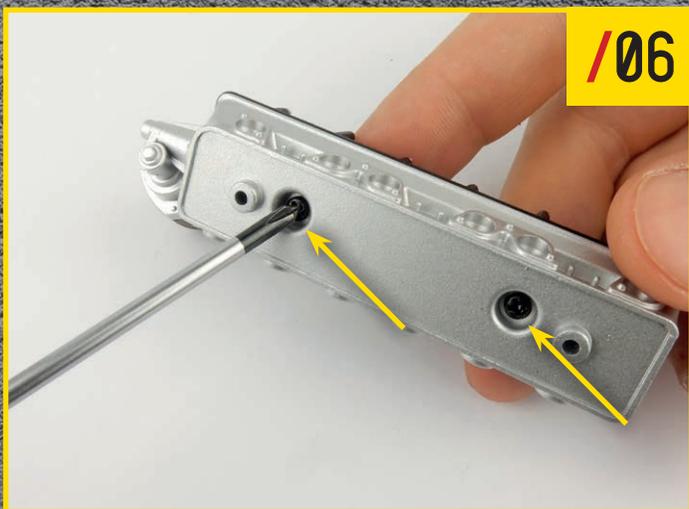
STAGE 7 で組み立てた右側のシリンダーヘッドを用意し、写真の向きで8-2 (ヘッドカバーナット)を組み合わせる。

8-2 (ヘッドカバーナット) を軽く押し、しっかりと組み合わせる。

/05



/06



8-2 (ヘッドカバーナット) が外れないように裏返し、2カ所にネジBを締めて固定する。



STAGE 8 の完成

これで組み立ては終了。右側のシリンダーブロックにヘッドカバーが加わった。残りの8-2(ヘッドカバーナット)は後の号で使うので、紛失しないよう大切に保管しておこう。